

Disclosure Report



JFE システムズ 株式会社

株主のみなさまへ

2011年3月期中間期ご報告 2010年4月1日—2010年9月30日

「脱価格競争の新たなビジネスモデル」

2011年3月期中間期
「株主のみなさまへ」



株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2010年度上半期の日本経済は回復基調になってきたものの、急激な円高による警戒感も強まってきています。IT投資の検討は、企業業績の回復により各社で再開され始めてきましたが、先行きへの不透明感から本格的な回復には至っておらず、情報サービス業界の売上は依然としてマイナス成長が続いております。

このような状況の中で当社は、SI事業においてJFEスチールおよびグループ会社向け、銀行向けを中心とした主要顧客の情報投資抑制、ならびにコストダウンの推進により売上高が減少し、価格競争の激化により収益も悪化しました。この結果、当社の2010年度上半期の実績は、残念ながら前

を創出し収益力の回復を目指します」

年同期比で減収減益となりました。一方で、プロダクト事業は堅調に推移し、食品向けでは品質管理システム(Mercrus)以外の基幹SI案件にも展開を広げるなど、厳しい中でも明るい兆しも出てまいりました。

2010年度下半期は、引き続き厳しい事業環境が見込まれるものの、JFEスチールおよびグループ会社、銀行で期待されるIT投資を確実に受注することを目指します。また、ビジネス間連携や技術要員の販売支援などによりSI事業の受注力強化を図るとともに、堅調なプロダクト事業へさらに注力することで、年度計画の達成を目指してまいります。

加えて、2011年4月の株式会社エクサの鉄鋼向け一部事業の円滑な承継と、シナジー効果の発現を目指してまいります。その効果は、要員の有効活用、技術・ノウハウの共有にとどまらず、異なるカルチャー

や特性を持つ社員の融合を図り、組織や人材の活性化を実現することにより、拡大させていくことができると考えております。

この事業承継を契機に、鉄鋼(大規模統合)システムの構築運用の経験、独自プロダクトの開発展開実績、ソリューションビジネスの協業実績、といった当社の強みをさらに活かし、お客様の変革をシステム面からサポートすることにより「脱価格競争」の新たなビジネスモデルを創出することで当社の収益力を回復させ、企業収益を向上させていきたいと考えています。

株主のみなさまにおかれましては、当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

代表取締役社長

菊川裕幸

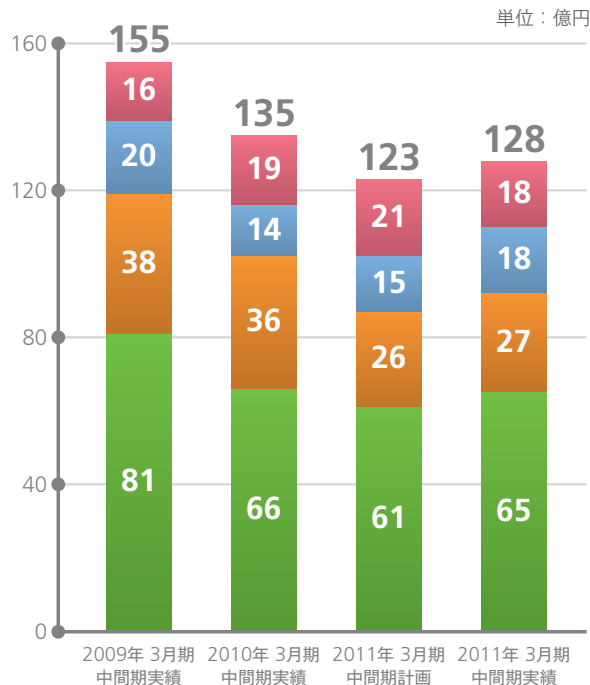
2011年3月期中間期概況

- JFEスチールおよび一般外販主要顧客の情報システム投資抑制の傾向は継続。プロダクト事業は堅調。
- 2011年4月のエクサ鉄鋼事業承継契約を締結。(JFEスチール、グループ会社向けアプリケーションシステム開発・維持事業の統合)

2011年3月期通期見通し

- ビジネス間連携の強化により案件の掘り起こしに努めるとともに、コスト削減の継続により期初計画達成を目指す。
- エクサ鉄鋼事業の円滑な承継と、新体制でのビジネス戦略の検討を行う。

2011年3月期中間期の連結売上高実績



■ 子会社連結寄与分 ■ 一般顧客向けSI事業
■ プロダクト・ソリューション事業 ■ 鉄鋼向け事業

プロダクト・ソリューション事業

電子帳票、食品、人事システムが堅調に推移

一般顧客向けSI事業

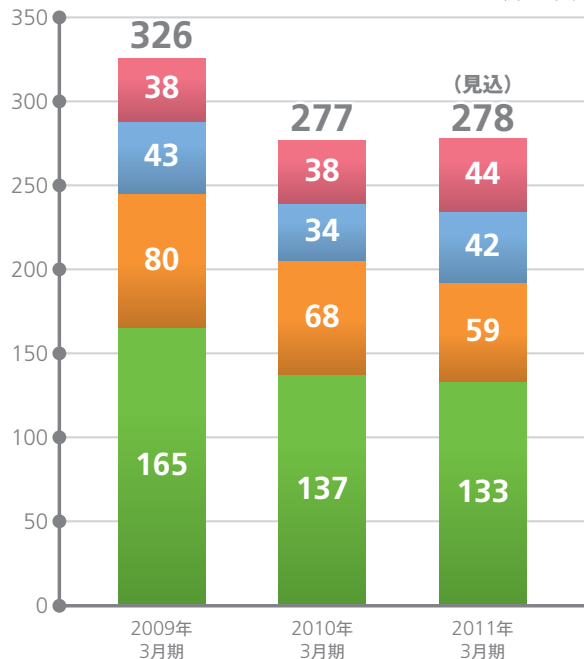
製造流通向け、金融向けとも前年同期に比べ大幅に減少

鉄鋼向け事業

前年同期に続き低水準で推移

2011年3月期通期の連結売上高見通し

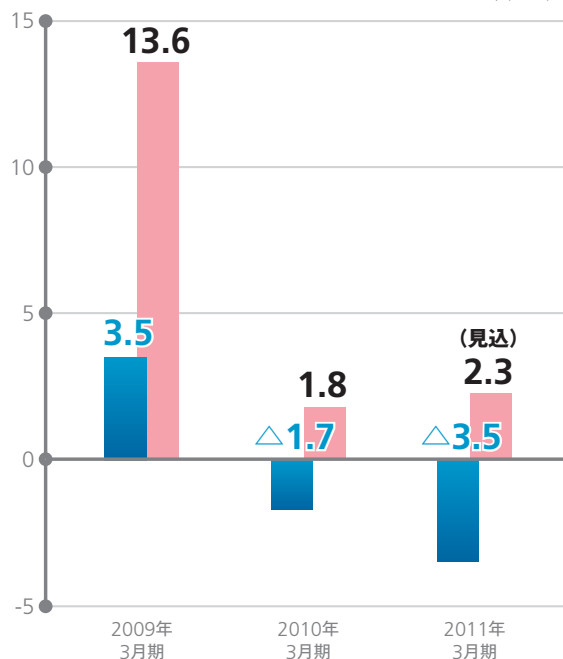
単位：億円



■ 子会社連結寄与分 ■ 一般顧客向けSI事業
■ プロダクト・ソリューション事業 ■ 鉄鋼向け事業

2011年3月期中間期連結経常利益実績および通期連結経常利益見通し

単位：億円



■ 中間期 ■ 通期

プロダクト・ソリューション事業

通期でも堅調に推移し、2009年3月期並みの売上を確保する見込み

一般顧客向けSI事業

下期は新規SIの拡大に注力するとともに、来期につながる企画提案、情報収集を強化

鉄鋼向け事業

通期でも前期に続き低水準で推移する見込み

売上総利益

プロダクト・ソリューション事業の利益率向上により売上総利益の前期比増加を見込む

販売費・一般管理費

ビジネス間営業連携の強化や技術要員の販売活動への投入により、前期比増加を見込む

エクサ鉄鋼事業承継の概要

鉄鋼ビジネス 統合の概要

- 2011年4月にエクサ鉄鋼向け事業（本社、京浜、福山）を分割し、当社が承継。
- 対象はJFEスチールおよびグループ会社向けのアプリケーションシステム開発、維持。
- 鉄鋼向けコンピュータシステム運用、および一般顧客向けは非対象。
- 対象売上高は約60億円～70億円、要員数は3百数十名。

当社

従業員数 1,530名
(2010年3月末)

株主 JFEスチール 65%
その他 35%



エクサ

従業員数 1,586名
(2010年1月1日)

株主 日本IBM 51%
JFEスチール 49%



承継



連携

当社の強み・特色とビジネス展開

特色1 鉄鋼システム構築・運用の経験

- 高度な業務アプリ構築実績
- 大規模システム統合のノウハウ (J-Smile)
→ データモデリングとオープン系基盤システム
- 24時間・365日、運用管理

SCM、品質管理、損益管理等

特色2 独自プロダクトの開発・展開実績

- No.1プロダクト ● 電子帳票 ● 食品品質管理
No.1プロダクト候補 ● 原価

特色3 他社とのアライアンス

- EC/EDI
- EAI
- SCM

強化領域

- ERP
- BI
- 人事

特色を
強みとして活かす
活動に注力

強みのある
ビジネスへの
リソース
重点投入

強みを
活かした
ソリューションの
開発

強みを
活かした
新たな市場の
開拓

下期の課題・アクション

1 受注／売上確保

- ▶ 堅調なプロダクト・ソリューション事業への注力
- ▶ 「ビジネス間連携」を強化し、継続的に新規SI案件を掘り起こす

2 コスト削減

- ▶ コスト削減対策の継続とアイドル発生コストのミニマム化

2010年度
収益計画の
達成に向けて

来期への
備え

1 エクサ鉄鋼事業の円滑な承継とシナジー効果発揮への打ち手

- ▶ 要員の有効活用、技術、ノウハウ共有等

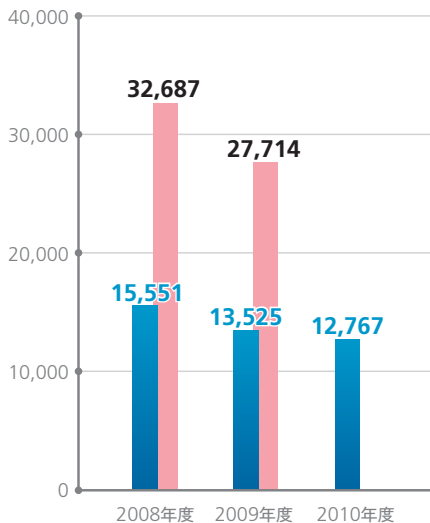
2 新体制下でのビジネス戦略の検討

- ▶ 「脱価格競争」を指向したビジネスモデルの変革

2011～2014年度の新中期経営計画を策定予定

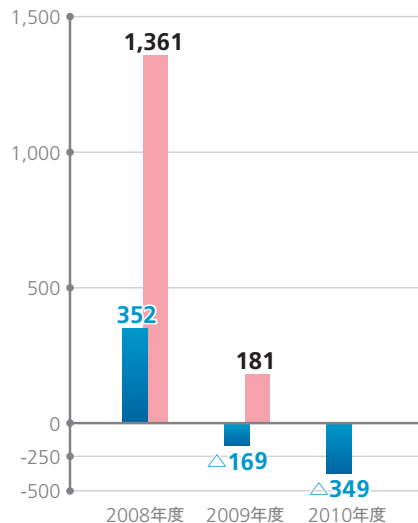
売上高

単位：百万円



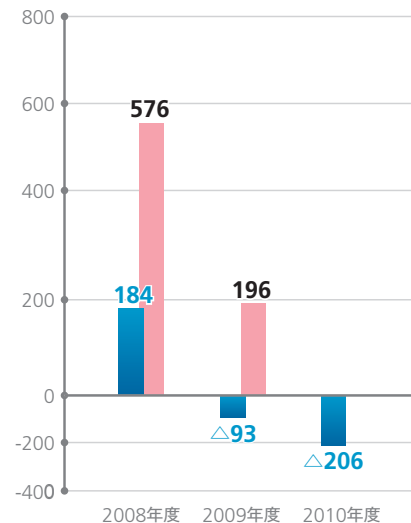
経常利益

単位：百万円



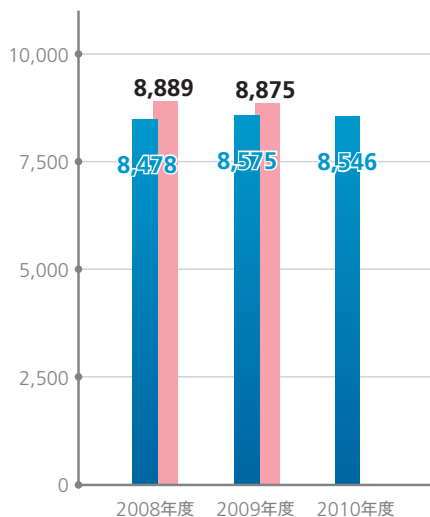
当期純利益

単位：百万円



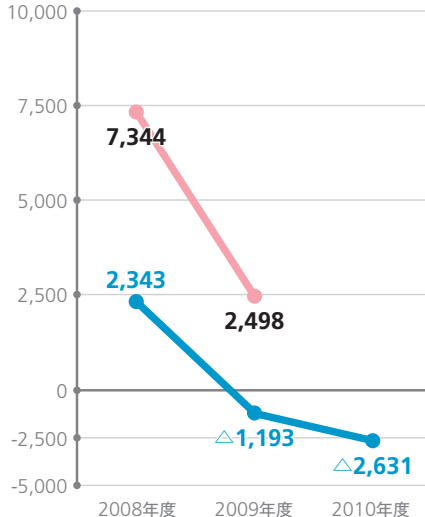
純資産

単位：百万円



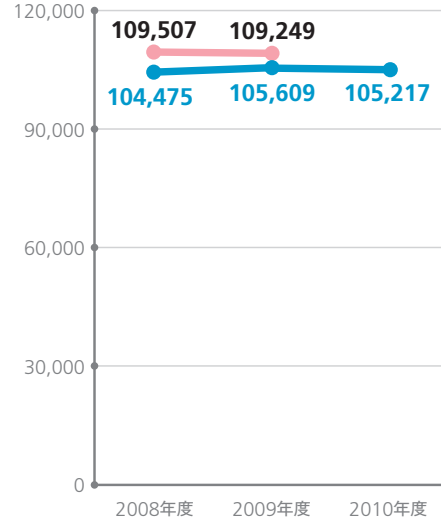
1株当たり当期純利益

単位：円



1株当たり純資産

単位：円



Consolidated Financial Statements
四半期連結財務諸表

9月30日現在/単位：百万円

四半期連結貸借対照表 (要約)	2010年度 第2四半期末	2009年度末
資産の部		
流動資産	8,724	8,749
固定資産		
有形固定資産	2,402	2,424
無形固定資産	1,805	1,708
投資その他資産	1,949	2,002
固定資産合計	6,157	6,134
資産合計	14,881	14,884
負債の部		
流動負債	4,530	4,257
固定負債	1,803	1,751
負債合計	6,334	6,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,390	1,390
資本剰余金	1,959	1,959
利益剰余金	4,899	5,216
株主資本合計	8,250	8,566
評価・換算差額等	12	12
少数株主持分	284	295
純資産合計	8,546	8,875
負債純資産合計	14,881	14,884

第2四半期累計 (4月1日～9月30日) 単位：百万円

四半期連結損益計算書 (要約)	2010年度	2009年度
売上高	12,767	13,525
売上原価	10,908	11,472
売上総利益	1,859	2,052
販売費および一般管理費	2,225	2,222
営業損失	△366	△169
営業外収益	34	18
営業外費用	17	18
経常損失	△349	△169
特別利益	0	31
税金等調整前四半期純損失	△349	△137
法人税、住民税および事業税	△142	△54
法人税等調整額	8	7
少数株主損益調整前四半期純損失	△214	0
少数株主利益または少数株主損失	△8	3
四半期純損失	△206	△93

第2四半期累計 (4月1日～9月30日) 単位：百万円

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)	2010年度	2009年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,529	1,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445	△565
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△422
現金および現金同等物の増減額	781	503
現金および現金同等物の期首残高	975	1,059
連結の範囲の変更に伴う現金および現金同等物の増減額	9	0
現金および現金同等物の四半期末残高	1,765	1,563

株主アンケート について

本ページ記載のアンケートに関する回答を、同封の返信用はがきのアンケート回答欄にご記入いただき、お手数ですが、2010年12月17日（金）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。アンケートにご回答くださった方には、2011年の卓上カレンダーをご送付いたします。
なお、アンケートはがきは、集計後に責任を持って破棄いたします。

1. 年代

- ①～30歳 ②～40歳 ③～50歳 ④～60歳 ⑤～70歳 ⑥71歳以上

2. 当社株式の保有期間

- ①半年未満 ②半年～1年未満 ③1年～2年未満 ④2年～3年未満 ⑤3年～5年未満 ⑥5年以上

3. 当社のどのような情報をお知りになりたいですか。(複数回答可)

- ①経営方針 ②事業計画 ③新製品・新技術 ④強み・特長 ⑤事業内容 ⑥研究・開発内容
⑦業界情報 ⑧業績に関する説明 ⑨その他(具体的に)

4. 当社をお知りになったきっかけは何ですか。(複数回答可)

- ①証券会社のセールス ②新聞(新聞名) ③一般雑誌(雑誌名) ④株式専門誌(専門誌名)
⑤会社説明会 ⑥知人の紹介 ⑦取引関係 ⑧インターネット検索
⑨その他(具体的に)

5. 当社株式の保有の理由についてお聞かせください。(重視しているもの1つ)

- ①事業内容 ②業績 ③将来性 ④値上がり期待 ⑤配当利回り
⑥その他(具体的に)

6. 今後の当社株式保有のご予定についてお聞かせください。

- ①継続保有 ②買い増し ③売却(あるいは減らす) ④未定
①～③の理由(具体的に)

7. “株主のみなさまへ”(お送りした小冊子)についてお聞かせください。

- わかりやすさ** ①わかりやすい ②わかりにくい
情報量 ①情報が多い ②情報が少ない

8. 当社ホームページ(<http://www.jfe-systems.com/>)についてお聞かせください。

- 閲覧について** ①見ている ②見ていない
①(ホームページを見ている)に○をつけた方に、ホームページの内容についてお聞きします。
わかりやすさ ①わかりやすい ②わかりにくい
情報量 ①情報が多い ②情報が少ない
必要な情報へのたどり着きやすさ ①たどり着きやすい ②たどり着きにくい

9. “株主のみなさまへ”、当社ホームページおよびその他当社に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

会社の概要

社名	JFEシステムズ株式会社 JFE Systems, Inc.
設立	1983年9月1日
資本金	1,390,957千円
従業員数	1,342名

取締役および監査役

代表取締役社長	菊川裕幸
取締役	堀田善一
取締役	畠山廣造
取締役	野村信三
取締役(社外)	西川廣
常勤監査役(社外)	若林莊太郎
監査役(社外)	渡部尚史
監査役(社外)	岡井哲

執行役員体制

社長(CEO)	菊川裕幸
専務執行役員	堀田善一
専務執行役員	畠山廣造
常務執行役員	野村信三
常務執行役員	宮原一昭
常務執行役員	杉充
執行役員	福村聡
執行役員	金藤秀司
執行役員	上條巧
執行役員	佐々木富雄

株式の状況

発行可能株式総数	338,050株
発行済株式総数	78,530株
株主数	2,062名

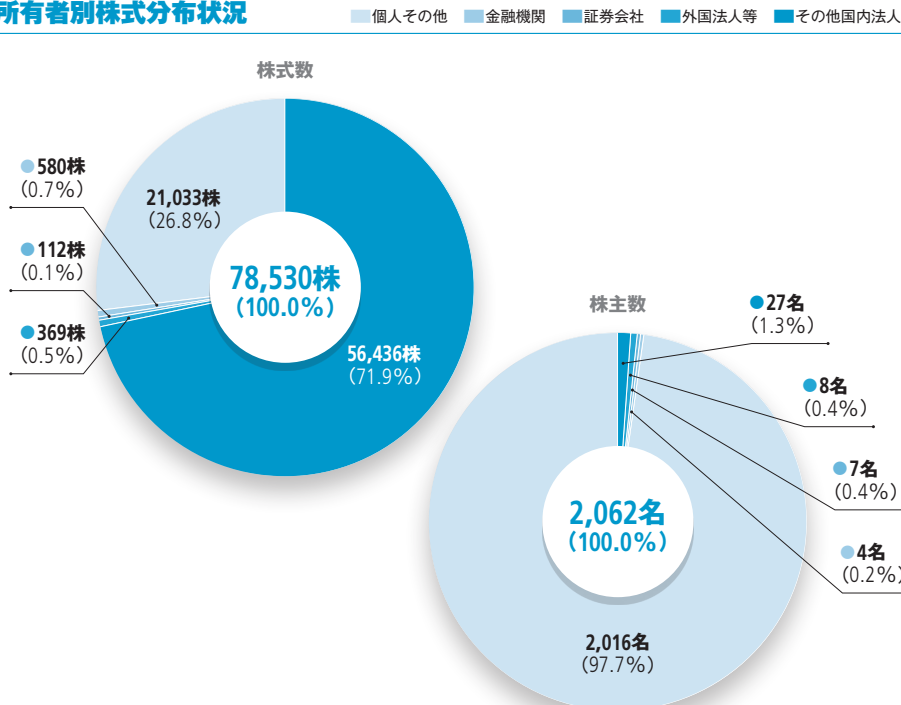
本社所在地

〒130-0012
東京都墨田区太平四丁目1番3号
TEL.03-5637-2100 (代表)

子会社の状況

子会社名	当社の議決権比率
KITシステムズ株式会社	67.5%
JSU, Inc.	100.0%

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	株主総会・期末配当は毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国 各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://www.jfe-systems.com/ir/houtei.html ただし、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に 掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所第二部

お知らせ

●住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設され
ました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井
信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申
出ください。

ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスク
や不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざ
まな要因により、見通しとは異なる結果となりうることを
ご承知おき願います。



<http://www.jfe-systems.com/>

当社のホームページでは、投資家のみなさま向けの「IR情報」をはじめ、最新のニュースをお知らせする「What's New」、お客様の導入実績をご紹介する「実績紹介」、当社のおすすめ商品「原価管理システム」「電子帳票ソリューション」「食品ソリューション」他のラインアップなど、さまざまな情報を公開しています。